

2017年9月14日

AGC 旭硝子の曲面形状の車載ディスプレイ用カバーガラス を搭載した世界初[※]の量産車が登場

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、当社の車載ディスプレイ用カバーガラスが、新型 Audi A8 に採用されたことをごお知らせします。曲面形状のカバーガラスを世界で初めて[※]搭載した量産車となります。

新型 Audi A8 のコックピットには上下に2つのタッチスクリーン式ディスプレイがあり、安全で快適な運転に必要な情報を表示し、コントロールできるようになっています。上部のなめらかな曲線を描く10.1インチの大型ディスプレイでは、ナビゲーションやインフォテインメントシステムを表示し、下部のディスプレイでは、システムを操作する仕様です。上部のディスプレイにはAGCの曲面カバーガラスが、下部のディスプレイには平面カバーガラスが採用されています。

AGCの車載ディスプレイ用カバーガラスの以下の点を評価され、今回の採用に至りました。

- ・なめらかな形状と周囲に溶け込む色調により、一体感あるダッシュボードデザインの実現に寄与している点
～AGC独自の三次元曲面加工技術と、色調を工夫した加飾印刷が貢献しています～
- ・素板から加工まで一貫生産し、高い品質をご提供できる点
～化学強化ガラスの製造、成形、映り込みを抑え指紋をつきにくくする等の光学成膜、加飾印刷まですべての工程をAGCグループで生産しています～

AGCグループは、経営方針 **AGC plus** の下、世の中に「安心・安全・快適」を、お客様に「新たな価値・機能」を、プラスする製品づくりに取り組んでいます。今後も車載ディスプレイ用カバーガラスのパイオニアとして、お客様に満足頂ける、新たな価値をプラスした製品をご提供できるよう技術革新を進めてまいります。

以上

※2017年9月14日時点、AGC旭硝子調べ